

# 第13回 議会報告会報告書

(1班 当日の意見・質問・要望と回答)

1月18日(土)10時00分～ 北岡公民館(北郷地区)

1月18日(土)14時00分～ 角田自治センター  
(東町・本町・東仲町・西仲町・天神町・  
北町行政区)

1月21日(火)18時30分～ 桜自治センター(桜地区)

1月25日(土)10時00分～ 東田町公民館  
(西田町・東田町・横田町行政区)

1月25日(土)14時00分～ 中島下公民館  
(新中島南・新中島北・中島下・  
高畑南行政区)

No.	班	会場	意見・質問・要望等	当日の回答
1	1	北岡公民館	台風第19号被害で市民の負担が軽減されるような、特例条例がどのようになるのか。市民税、国民健康保険税等生活負担金の軽減を検討しているのか。	市民の負担軽減、市税の減免等については、議会として話は出ていませんが、被害者生活再建支援金支給制度については、制度の緩和に向けて県、国に対し、活動を行っております。
2	1	北岡公民館	陳情等により、国に対して要望は、大事であると思うが、市、独自に特別予算を使い速やかに生活再建を行い。復旧、復興が他に模範となるように議会として行動を行うべきである。	市、独自の対策について理解はするが、被害規模が大きいものですから、実力的に難しく、国、県の支援を受けて対応する方向で動いております。 市、独自については持ち帰り検討致します。
3	1	北岡公民館	高倉川決壊について、今回の台風第19号は未曾有の大雨だから、仕方がなかった、自然災害であったと、行政なり、議会から言われている感じを受けているが、本当にそうだったのか。江尻機場の取り扱いに問題はなかったのか、3本の川（雑魚橋川、尾袋川、高倉川）の水位調整は機能していたのか、また、第3機場が機能しなかった問題はなぜなのか、決壊によって汲んだ水が逆流してきたが、どこに問題があったのか等々、議会として調査、検討していただきたい。	今回の議会報告会は、災害全般を議会として総括していきたいとの思いで、この時期に開催をさせていただいております。江尻機場場の運用が適切におこなわれたのかについては、持ち帰り議会で検討致します。
4	1	北岡公民館	詳細情報（各地区の水位・被害状況等）の発信がなく、情報は、避難所開設、閉鎖の発信である。ほかの情報は何もない。なぜこのような結果になってしまったのか令和2年3月迄に報告を願う。	調査し検討致します。
5	1	北岡公民館	エリアメール柴田、大河原のエリアメールは何回も入ってきたが、角田は小田川と笠松のエリアメールだけで、堤防決壊とか、越水の情報が全くなかった。どのような内容で出したのか。	エリアメールの発信については、持ち帰り調査報告致します。
6	1	北岡公民館	消防団員、自宅待機と聞いていたが、パトロール等実施していれば、災害が軽減されたのではないかと。	消防団の活動に関しては、旧態依然と変わり、自分の命は自分で守る事が前提で、過去に災害で消防団員が亡くなった地域もあり、今回の消防団の活動に対しては、上からの指示は難しかったし、パトロールができる状況ではなかったと思います。
7	1	北岡公民館	今回角田市で作成、全戸配布しているハザードマップは役に立たなかった。地域住民に対して、あらゆる事態を想定し、再度作成すべきである。	ハザードマップを含めて、防災についてのマニュアルを地域の方々のご意見を取り入れながら、どのような行動をされたのか等も含め、作成することになっています。
8	1	北岡公民館	今回の台風第19号について、実態調査について角田市全戸を対象にアンケートをお願いしたい。・・別紙添付（要望事項のため回答は求めない）	持ち帰り検討させていただきます。
9	1	北岡公民館	今回の台風第19号で角田市の排水能力は充分だったのか、能力がないとすれば、今後、どのような対策を行うのか。	全体の排水について、能力があるのかという事ですが、今後も異常気象により、同等の雨量も降るだろうとの想定で、単なる復旧ではなく、改良復旧での考え方で国、県は動き出しております。

No.	班	会場	意見・質問・要望等	当日の回答
10	1	北岡公民館	北郷小学校が避難所になっていたが、道路冠水により遮断され行くすべがなかった。今後どのようにするのか。	避難所に移動する経路が遮断され、課題であります。承りました。
11	1	北岡公民館	今後の豪雨対策について、議員として具体的に提案すべきである。	検討させていただきます。
12	1	北岡公民館	今回の台風第19号で、市道102号線（高倉川二枚田橋～北郷小学校まで）は、6日間浸水状態にあった。今まで幾度となく要望しているが、一向に改善なされていない。	当局に伝えます。
13	1	北岡公民館	昨年の12月末で角田市の人口は28,728人。角田市の職員は、560人（正規280人・パート、臨時280人）ですが、過去（60年前）においては、人口100人に対し、1人が職員であった。スリム化は出来ないのか。	人口は減少しているが、役所の仕事量は少なくなっていない。正規職員は減少しているが、少ない部分を任期付き職員等で対応しているのが現状です。議会としても精査してまいります。
14	1	北岡公民館	5年に一度統計調査（農林業政策）を行っているが、今の時代が来るのは解っていたのではないか、何も変わっていない。国政の場に声を挙げてほしい。	農業政策は、集約化が進んでおり、大規模農家が増えてきております。その人たちの経営支援策も具体的に大きな金額で出てきており、稲作については構造改革が進んでおりますが、一方で転作率が3割から4割近くになってきており、稲作だけではやっていけないという課題はあります。角田市独自の農業政策が必要と議会内での議論はありますが、具体的施策には至っておりません。
15	1	北岡公民館	角田市年始交歓会、今年から会場の関係で、出席者は各行政区2名に絞られた。今回のやり方について、地区内より不満の声がある。田園ホール等で出来ないのか。	年始交歓会については、持ち帰り当局と相談させていただきます。
16	1	北岡公民館	正規職員が減少し、非常勤職員が増加しているが、行政事務なのか、介護関係、福祉関係なのか、中身を精査していただきたい。	職員数が肥大化しているのではないかとありますが、20年、30年前と比べ業務のボリュームは増えています。減少させればコストカットにつながりますが、今回のような有事の際、現場に出る職員が不足する側面もあるので、厳しく見ていく必要があります。事務の効率化としては、来年度より、市民課にAI（人口知能）を導入し、簡単な住民票等の発行は、すべてロボットで対応するようになります。
17	1	北岡公民館	阿武隈急行の復旧について、議会としてどのように考え、対応しているのか。	議会としては、全線復旧で国、県に対し要望をしております。
18	1	北岡公民館	阿武隈全線復旧にたいして、県は消極的ではないか。	復旧するにあたっては、多額の費用が発生し、また全線開通後の維持費も考えると、財政的には非常に厳しい状況にあります。現在、県、阿武隈急行自治体の首長が最良の方法を検討中であります。
19	1	北岡公民館	本日の議会報告会は、北郷地区ですので、被害状況一覧は北郷地区の資料がほしかった。要望です。	要望として承ります。

No.	班	会場	意見・質問・要望等	当日の回答
20	1	角田自治センター	国道113号沿いの小田川の水門を閉めた時の阿武隈川と小田川の水位を教えてください。阿武隈川の水位の方が本当に高かったのか。	小田川は強制排水ポンプはなく水門のみ設置しております。阿武隈川の水が逆流してくるため小田川の水門を閉めたとのこと。客観的な数値を持ってお示しの方がよいと思うので、調べて回答致します。
21	1	角田自治センター	小田川、高倉川等の河川水位を時系列で示せないか。今後の水害の為に、心がまえになる。	時系列による詳細情報は、角田市のホームページで公開しているので、参照して頂きたいと思います。
22	1	角田自治センター	寄付やふるさと納税は、災害復旧にどのように使われているのか。	全体の復旧予算の中で、それぞれの寄付金等がどこに振り分けられるかはわかりません。
23	1	角田自治センター	中島行政区からの陳情は角田市全体の問題ではないか。	角田市全体の問題なので現在国・県に議会から要望を行っております。
24	1	角田自治センター	議会と災害対策本部との関わりはどうなっているのか。今回議員の行動が見えなかった。これからの災害対応の為に抜本的な対策が必須である。具体的に示してほしい。	現状、市の防災計画の中では災害対策本部に議会の役割の記載はありません。災害対策本部に議会がどういう形で関与出来るか研究途上であります。
25	1	角田自治センター	また同様の災害が起こる可能性がある。今後は更に大型化するだろう。議会の皆さんは水害が広がった原因はどう考えるか。	根本原因の共通認識は議会としてはまだ持っておりません。しかし排水機能の老朽化で対応できていないことや、阿武隈川と支流のあり方等を検証すべきと考えております。
26	1	角田自治センター	市内に増水した水が流れなかった。下流域で稲わらが詰まっていたので、稲わらが排水口などを塞いでいた。田んぼに稲わらが散乱していなければ処理費用に31億円もかからなかったし、これほどの被害がなかった。今後稲わらを放置しないようにお願いしたい。	稲刈り直後の時期ということもあったと思われます。地区によっては自衛隊に依頼して稲わらを除去し、排水が円滑になった事案もありました。今後の検討課題とさせていただきます。
27	1	角田自治センター	稲わらを稲刈り後すぐに撤去するという全国的な流れはないのか。	現在のところありません。
28	1	角田自治センター	今回の被災は良い経験値だったと思う。相対的に気象が変わっているのに、災害に対し市民の自覚も必要だ。どのように水が増えていくか等データを分析してもらい、自分で安全管理をしなければならない。色々な人の力を結集して頂き、警鐘的なものを出してほしい。防災レクチャー等を通じて賢い市民になるようにすればよい。	今後の検証の糧とさせていただきます。
29	1	角田自治センター	10月13日の朝がた、水が上がったが理由はなにか。	阿武隈川の水は、福島県から角田市に到達するのに時間を要することが要因の一つと考えられます。赤生溜池が決壊したのも理由の一つです。
30	1	角田自治センター	災害時、椿の湯が解放されたが、温水プールを災害時に無料で使えたことを市で広報してほしい。	要望として承りました。

No.	班	会場	意見・質問・要望等	当日の回答
31	1	角田自治センター	去年横田町に新しい水門が出来たが、今回詰まって流れを邪魔していた。大雨が降ると溢れる危険だが、市は対処してくれない。この水門は何の目的で救ったのか。また、どこが管轄しているのか。	まずは行政区町を通じて市へ連絡を行って頂きたいと思います。
32	1	角田自治センター	消防団の一員として復旧作業にあたった。排水路が、様々な箇所ですまっていた。10月14日に裏町の水は引いたが、排水溝の蓋を開けて見たらゴミが大量に詰まっていたため、ゴミを除去すると水が流れていった。点検は定期的にやるべき。 また、小田川水門付近の飛び石デザインは、ゴミがひっかかるばかりである。	水路は一度全部見て頂いて、定期的な点検が必要だと思います。改めて検証致します。小田川の飛び石デザインについても今後検証が必要であると思います。
33	1	角田自治センター	市役所で簡単に排水溝の蓋を取る器具を貸してくれることから、水路掃除は行政区でできる。	ご協力をお願い致します。
34	1	角田自治センター	各消防団の現場担当割り振りはなかったと聞いている。見回りもいっていないはず。小田川に全てポンプを持って行って、阿武隈川に水を流すのにかかりっきりになったのは如何なものか。	今後検証させていただきます。
35	1	角田自治センター	角田に外部からボランティアにいらして頂いたのは初めてのケースではないか。ふるさと納税の一部を利用するなどして交通費を支給するなどの見直しが必要でないか。	今後検証を致します。
36	1	角田自治センター	社会福祉協議会は縦割りで、対応が菌がゆい。ボランティアが居なければ復旧ができない	今後検証を致します。
37	1	角田自治センター	小田川の土砂を早急に、取り除く考えはないか。	復旧工事と浚渫は既に始まっております。
38	1	角田自治センター	阿武隈川の中州に木が生えて伐採した。川の整備を進めてもらいたい。	東根橋、槻木大橋の所も整備しているようです。引き続き要望して参ります。
39	1	角田自治センター	市内各地にあるソーラーパネルの設置場所については、地滑りなどの危険性はないのか。制限は加えているのか。	開発面積にもよりますが設置前に厳しい審査があります。しかし市で制限を加えていることはありません。
40	1	角田自治センター	「議会だより」に、復旧工事のプロセスを載せてもらいたい。	見える化は重要であるため、今後の「議会だより」に掲載できるよう検討致します。
41	1	角田自治センター	現在の阿武隈急行の復旧の見込みはどうか。復旧にはどの程度の予算が必要か。本来は本数を増やして欲しい。	全線復旧に15億円程度必要との見込みです。全線開通しない場合、阿武急が廃線になる可能性もあります。全線復旧に向けて要望活動を進めて参りたいと思います。

No.	班	会場	意見・質問・要望等	当日の回答
42	1	角田自治センター	地球温暖化でCO2を減らさねばならないが、パーム油による発電所が角田市に建設されている。二酸化炭素の排出が間違いなく増えることから、温暖化対策について逆行しているように見える。市長は広報で「二酸化炭素を削減する」といっておきながら、パーム油発電で二酸化炭素排出増加を黙認するのか。周りから見れば角田市は環境に配慮していない街に見える。「二酸化炭素を排出する」と明文化してほしい。	角田市の長期総合計画の中で、低炭素型社会への取り組みが記載されています。議会としては、低炭素社会が実現できるか検証させて頂きます。
43	1	角田自治センター	市議会だよりの中で、議長が「オリンピック・パラリンピックで外国人が来てほしい」と言ったが、誘致を想定した計画はあるか。何か具体的な取り組み、予算はあるか。	海外の方が、角田にも寄って頂けたらいいとの思いで書かせて頂きました。
44	1	桜自治センター	台風第19号で被害を受けた方の補償はどうなっているのか。	床上浸水1m以上の方は支援金がありますが、1m以下の方は今のところありません。
45	1	桜自治センター	復旧にお金がかかると思うが、どうしようとしているのか。	復旧には、国から90%の90億、角田市は10%の10億程度必要となるため、特別に支援を受けられるよう陳情活動をおこなっています。
46	1	桜自治センター	県に対して陳情をしたと思うが、結果はどうなったのか。	結果はまだ出ておりません。
47	1	桜自治センター	防災マップでは桜小学校が避難所に指定されているのに、10月12日の開設時にはウェルパークに避難して欲しいとの事であった。夜8時に追加で桜小が避難所として開設されたが、風雨が強く避難出来なかった。より適切な対応を考えて欲しい。	避難経路や避難所開設について今後検証を行います。
48	1	桜自治センター	指定された避難所に避難すると思うが、乳幼児のいるお母さんなどは、区別して避難所を指定すべきではないのか。	飽く迄自主避難ということで、食料や寝具などは持参するようになっていました。乳幼児のいるご家庭など、事情や状況は様々であるため、より配慮された避難所となるよう当局へ要望として伝達致します。
49	1	桜自治センター	阿武隈川が氾濫した場合のみならず、様々なシミュレーションを反映したハザードマップを作成し配布すべきではないか。	ハザードマップは阿武隈川の氾濫を想定したものです。様々な場面を想定したものを作成するよう要望したいと思います。
50	1	桜自治センター	8区のある地区が道路冠水等で孤立した。増水した水が一旦は少なくなった後に再度増えたが何故か。	404mmの降水量があり、内水が発生し上流の赤生溜池が決壊し、小田川が越水したことによります。その後稲わらが市内各地の側溝や排水路に詰まったことや、高倉川の決壊によってそのような状況となったことと思われます。
51	1	桜自治センター	高倉川、小田川が決壊しないような対策はどのように取っていくのか。	従来は被災前の状態に戻す「復旧」が主でありましたが、更に対策を施す「改良復旧」との考え方で能力向上を施すものと思われます。

No.	班	会場	意見・質問・要望等	当日の回答
52	1	桜自治センター	今後どの程度の雨量で被害が生じない対策を行おうと考えているのか。	川に堆積した土砂や繁茂した樹木が流れを悪くしている箇所もあることから、川砂の撤去と樹木の伐採等の対策を求めていきたいと思ひます。
53	1	桜自治センター	ハザードマップが見づらい。また小田川、高倉川にも観測所の設置は出来ないのか。	一目でみてわかりやすいものとなるよう要望していきたく思ひます。観測所についても要望として当局に伝達致します。
54	1	桜自治センター	江尻排水機場だけ考えているようだが、中島の排水機場から越水し桜6区に流れてきた。対策を考えて欲しい。	持ち帰り検討致します。
55	1	桜自治センター	桜小学校を最初から避難所として開設してほしい。	早期の開設を要望として当局へ伝達致します。
56	1	桜自治センター	災害のない町づくりを、議員が団結して行ってほしい。	要望として承りました。
57	1	桜自治センター	小中学校の統廃合はどうなっているのか。	市内各小中学校の保護者代表者、区長さんら、有識者で構成される学校適正規模検討委員会にて足かけ二年にわたり検討を行い、昨年12月に最終案をとりまとめたようです。またこの検討委員会に議員は参画しておらず、今後議会に対して説明がある予定です。
58	1	桜自治センター	阿武隈急行がなくならないようお願いしたい。	要望として承ります。
59	1	桜自治センター	一部報道によれば角田市の財政は全国でワースト9位であるとのこと。議会でも対策を練ってほしい。	今後議会として精査して参ります。
60	1	桜自治センター	議会報告会に参加するのは区長と区の役員のみだ。全世代の方が参加されるよう努力してほしい。	ご参加頂いたことに感謝致します。今回は市内各小中学校PTA、子供育成会、女性団体等にも新たにお声掛けさせて頂きました。今後も更に努力致します。
61	1	桜自治センター	人口が減っている。議員も10名程度で良いのではないか。	議員と議会の本分は行政に対するチェック機能です。議員が少なければうまく機能しないことも考えられます。
62	1	桜自治センター	まちづくり懇談会は重要であるため、10年後、20年後の角田が良くなるように開催してほしい。また議員活動もそれを念頭に行ってほしい。	要望として承りました。また当局へ伝達致します。
63	1	桜自治センター	自治センターのあり方が4月から変わると聞いているが、良く検討して欲しい。	昨年12月議会に議案として上程され、付託された委員会の結論は継続審議というものでした。当局にはしっかりと説明と理解が進むよう要望していきたく思ひます。

No.	班	会場	意見・質問・要望等	当日の回答
64	1	東田町公民館	被災者生活再建支援金制度を教えて欲しい。	自宅を再建する際に支援金を払う制度です。水害の際、全壊、大規模半壊、半壊にその被害程度が分けられます。水害における全壊扱いは1.8メートル以上の浸水、大規模半壊扱いは1メートル以上の浸水、半壊扱いは1メートル以下となりますが、今回問題となっているのは半壊扱いの方々が支援金支給の対象外となっていることです。浸水が1メートル未満の世帯が多かったのですが、それ以上の浸水家屋と被害としては同程度であるため、支援金支給基準を緩和するよう求めています。
65	1	東田町公民館	仮設住宅の現状について教えて欲しい。丸森の現状は耳にするが、角田の状況がわからない。	仮設住宅について、プレハブの仮設住宅を建設せずとも、アパートをみなし仮設住宅として間に合ったとの状況でありました。
66	1	東田町公民館	議会に提出された陳情に基づいて要望活動を行なっているとのことだが、強く活動を展開して欲しい。浸水被害が1メートル未満でも生活は壊れてしまう。	承知いたしました。
67	1	東田町公民館	岩手、福島は被災者への独自支援を展開しているが宮城県の動きが見えないがどうか。	結論的には、現状宮城県の動きはありません。しかし県への陳情の際に、副知事から国と県が事務レベルで折衝する予定であるとの回答を得ました。
68	1	東田町公民館	議会において三回の追加補正を行ったとのことだが、財源はどのようにしたのか。	激甚災害指定のため、殆ど国からの支援ですが、総額の一割を角田市が負担しなければなりません。しかしその負担も非常に困難であるため、地元国会議員等を通じて、100パーセントの助成を目指しているようです。東日本大震災の際と同様の対応を求めています。またふるさと納税額が、昨年12月末で15億円に達しています。年度末には16億円に達する見込みです。そのうち諸経費が半分程度必要であるので、7～8億円の財源確保が出来そうとのことです。
69	1	東田町公民館	床上浸水の度合いの線引きが曖昧だ。県知事や地元選出国會議員に強く要望活動を展開するなどして進めて欲しい。	要望として承ります。
70	1	東田町公民館	各議員は被災地を見て回っていたと思う。大規模な被害があった地区には行っているだろうが、我々の地区には来なかった。票にならないと来ないのか。議会には関心を持っていないが、議会報告会を行う暇があったら訪問して欲しい。各行政区の役員くらいには顔を出して欲しい。おかしい。	市の防災計画の中では議会の役割は明記されていないことから、各議員は各自の活動の中で他議員や区長さん、当局と情報共有や連携しながら復旧支援をしていたことが現実であります。今後防災計画の中に議会の役割を明記すべきとして調査研究を進めております。その後の対応…

No.	班	会場	意見・質問・要望等	当日の回答
71	1	東田町公民館	ハザードマップと現実乖離があったと感じる。今回の水害はケースが違うと思うし、今回の被害についてどのように総括するのか。市のトップが防災無線が全く機能しなかったと公に言っている。普段の確認はどうなっているのか。	防災無線は角田市では整備されておりませんが、連絡用の無線を自治センターに置いておりますが、防災無線ではありません。ハザードマップについてはほぼ想定通りのものであったようです。今後内水の氾濫も想定した改訂を行なっていくとのことです。
72	1	東田町公民館	防災に対してのハード面の対策はどのように行なっていくのか。今後の降水量は増加すると見込んだ対策、土木事業はどのようにしていこうとしているのか。	これまでの治水対策の想定降水量はおよそ300ミリでした。町なかの排水がなされなかったのは大量の稲藁が排水路等に詰まったことも要因の一つであろうと考えられます。また現在展開している陳情、要望活動の中で、県や国側から聞こえる言葉に改良復旧と言うものがあります。単なる復旧のみならず、改良も含んだ取り組みを行なっていくようですが、具体的にはこれからとなります。江尻排水機場も今後本格的に改修を行う予定となっておりますが、市側は能力を向上させる必要があるとの認識で取り組みを展開していくものと思われまます。
73	1	東田町公民館	自主防災組織について防災安全課の指導も過去受けていたが、今回の水害には役に立たなかった。また今回の被害は角田のメインストリートを濁流が流れ衝撃を受けた。避難指示の呼びかけにも応じない住民もいて現実に避難の徹底は難しいと感じたが、出来ることをしなければならぬ。また声がけする中で初めて顔を合わせる方もいた。	自主防災組織の運用については、災害の只中では難しさもあると思います。消防団ですら、あの豪雨の中で出動することも難しい場面がありました。避難の呼びかけについては、楽観視する方もおられ、難しい場面もあったかと思ひます。
74	1	東田町公民館	小田川の氾濫について、降水量300ミリ想定でハザードマップが作成されているとのことだが、如何なものか。江尻排水機場がメインの排水機場ではあるが、小田川流域に排水機場を設置できないのか。設置してないとすれば怠慢だ。	農水省内では小田川への排水機場の計画はありますが、護岸工事終了後に設置するとのことですが完了がいつになるのかは不明ですが、国交省の大型排水ポンプは県南には配備されておりません。今回丸森へ配備されたのが実情でした。今後角田市にも配備する可能性もあると聞いております。
75	1	東田町公民館	国交省からは排水しすぎると阿武隈川堤防が持たない恐れがあるため、排水するなど指示があったと思われる。排水量と堤防の強度も見越して対策をして欲しい。	要望として承りました。
76	1	東田町公民館	消防団の班長経験がある。水防団は上からの指示がないと出動出来ない部分もある。当座、今災害がきた際にどうするのか。避難所まで到達出来ないことも想定される。避難所を新たに建設するとしても時間を要する。自宅の一部屋を避難場所として提供したり、防災用品を設置して頂ける協力者を募るなど、今どうするかといった制度構築を市が行って欲しい。	要望として承ります。

No.	班	会場	意見・質問・要望等	当日の回答
77	1	東田町公民館	三田町は水害の際に孤立すると言う意識がある。自主防災組織の訓練の際に、公民館に対策本部を設置したが、そもそも水没する場所だ。そのような情報を災害対策本部等に伝えるのが議員であるため、議員団が当局側の災害対策本部に入ることに反対だ。	角田市の防災計画の中には議会の位置付けがなされておりません。災害対策本部に議会が参画出来ないかと模索してしておりますが、議会の能力を活かして情報を当局へ伝え、人命救助等を迅速に展開することが目的でありますので、決して当局の組織の中で埋没することではないことをご理解下さい。
78	1	東田町公民館	グリーンホテルを避難所にすると言うのも一案であり、提携することも有効だ。災害時に高齢者の方々を避難所まで移動するのは現実的でない。今後の災害対策に活かして欲しい。	民間の高い建物を有する方と連携できるかどうか当局へ打診してみます。
79	1	東田町公民館	今回の被災時に区長宛に電話連絡やファックスが来るが、連絡を待つために外出出来ないのではないか。自分が避難しながらも情報を得なければならない為、情報伝達の方法に工夫が必要ではないか。	横倉地区でも同様の事案がありました。持ち帰って検討して参ります。
80	1	東田町公民館	今後の議会報告会はワークショップではなく、従来通りの懇談会形式が良い。	ワークショップが最善の方策とは考えておりません。必要であれば懇談会形式の議会報告会も並行して実施することも検討して参りたいと思います。
81	1	東田町公民館	小田川が決壊する前に、「決壊しそうだ」との情報が裏町地区の一部に伝わったようだ。「しそうだ」と言う情報の発信を想定される浸水区域の情報と合わせて発信して欲しい。	要望として承りました。
82	1	東田町公民館	自主防災組織が機能出来ない現実を理解して欲しい。自主防災組織を担っているのは現実的に高齢者だ。高齢者避難準備の発令が出た際に感じたのは、自分たち高齢者が避難した後で、誰が自主防災組織を担うのかということだ。過剰な期待を抱くのはやめて欲しい。	現実の課題として承知致しました。
83	1	東田町公民館	県土木事務所から自宅のブロック塀の改修を求める電話があった為、市役所に出向いた所、改修は少し待ってくれと言われた。どうなっているのか。	危険ブロック塀の除去等については助成金制度があり既に運用が開始されておりますので、都市整備課にご相談をお願い致します。
84	1	中島下公民館	ゴミ置き場の重量とトラックの台数が一致しないのではないかと。	大型トラック、軽トラックが混在しているため、そのような資料表記になっているものと思います。
85	1	中島下公民館	台風襲来前の10月11日までに市は何の対策をしていたのか。	10月11日までの時系列について今後当局がまとめ、示すものと思われまます。
86	1	中島下公民館	角田市からのお知らせの配布方法がちぐはぐだ。区長が配布したものと、新聞折込したものもあった。新聞折込みは、新聞を取っていない方もいることから間違った方法だ。読む方の立場に立ってほしい。高齢の方もおり読みやすい紙面構成であるべき。	新聞折り込みによる配布方法について議会でも問題視し、区長を通じて配布する方法に戻した経過があります。

No.	班	会場	意見・質問・要望等	当日の回答
87	1	中島下公民館	角田市からのお知らせが、郵便や新聞折込として届いたが、研究を要するのではないか。	角田市からのお知らせの配布方法は、区長さんから、区長が配布するのではなく別の方法をとって欲しいとの要望があって新聞折り込みにしたとの経過を辿っていたようです。その後、全戸に行き渡るように、会派代表者会議にて区長さんへ依頼すべきとしたものです。
88	1	中島下公民館	角田市からのお知らせを配布した後に、市から配布依頼のメールを送信するのは止めてほしい。	当局へ伝えます。
89	1	中島下公民館	かつて経験のないの水害であった。最終的には角田高校まで避難所として開設した。高畑は独自に避難経路のマップを作成しているが、夜中の雨のピーク時に避難は困難。また避難所はもとより、近隣に一時的な避難場所設置が必要だと感じている。生活圏の中にある身近な避難所があると良い。	避難所については角田高校とコスモハウスの開所が遅く、道路冠水にてアクセスできなかったようです。一時避難所については、病院や民間施設の協力を得ていく取り組みと共に、見直しは今後必要であろうと思います。
90	1	中島下公民館	高畑と中島地区は、阿武隈川に隣接している。川底への土砂堆積によって浅くなっている。昔は伊具砂利組合にて土砂を取っていたが、現在はしていないようだ。今後どのようか。また、堤防の漏水が懸念される箇所が二箇所あり、対応願いたい。	川底の砂利採取については他会場でも要望を頂きました。樹木の伐採等とも合わせて要望していきたいと思います。また堤防は完成形ではなく現在は下名生から西小坂を建設中です。まだまだ手直し等が必要であろうと思いますので、議会としても今後要望を行っていききたいと思います。
91	1	中島下公民館	避難勧告発令が夜中では遅すぎるばかりか、風雨の強い中での移動は危険であった。情報を的確につかみ、もっと早く発令が出来ないのか。復旧予算で大きな金をつぎこむのではなく、事前の予防策に注力してほしい。	避難勧告、避難所開設が遅いとの声はたくさん頂いています。事前に情報を当局は得ていることから、明るいうちに避難所を開設するよう要望していきたいと思います。
92	1	中島下公民館	Kスポの状況だが、テニスコート、陸上競技場も被災後のままだ。今後のスケジュールはどうか。	復旧に必要な予算は約94億円程度との試算となっています。国が9割、市が1割負担しなければならないために当局は財源確保に奔走しています。1割負担でも現状の角田市には相当な負担です。ふるさと納税が年度末で約16億円程度見込んでおり、経費を除いた7~8億円は自前で確保出来そうとのこと。しかし国への申請や承認までには時間とマンパワーが必要であるため、明確な時期をお示し出来ないでいるようです。今後復旧にあたる専門の課を設置して進めるとの事です。
93	1	中島下公民館	梶賀に排水ポンプ場がある。今回の増水具合を見てポンプ場に行ったが誰もいなかった。国交省の詰所にも誰もいなかった為、防災安全課に排水を依頼した経過があるが、午後8時40分に稼働したとのこと。ポンプの管理は国交省とのことだが、大雨洪水警報が発令されるなか、誰もいないのはおかしい。角田市管理に変更し、適切な稼働を願いたい。本件は過去複数回要望している。	持ち帰り確認と検討を致します。

No.	班	会場	意見・質問・要望等	当日の回答
94	1	中島下公民館	阿武隈川の水位が上がった後では、梶賀のポンプは機能しない。堤防の上を通す強制排水機能が必要だ。	持ち帰り調査、検討致します。
95	1	中島下公民館	同様の風水害が今後も続くとすれば、阿武隈川の水量は増える。角田市としての治水、防災対策を示して欲しい。それが示されなければ角田市には住めない。	市当局のみに要望しても実現出来ない部分もあると思われるますので、県や国と如何に連携をとって対策をしていくのか、議会として検討を進めたいと思います。2015年の特別警報が発令された豪雨からわずか4年後の2019年にこのような災害が発生したことから、議会として真摯に取り組んで参ります。
96	1	中島下公民館	岩沼の阿武隈河口に堰がある。あのようなダム的なものは如何なものか。取り除いた方が良い。 また、角田市のパークゴルフ場など要らない。あのようなものが河川敷にあるから流れが悪くなる。	ご意見として承ります。
97	1	中島下公民館	いくつも避難所があるが、避難所にて食事を提供したのか。浸水して何日も避難所にいることを考えれば食料の対策も取らねばならないのではないのか。	当初食事の提供はしていなかったようです。600人分の食事三日間分を市役所にて一括保管していたため、配布の遅れが生じたとのことです。自衛隊、ボランティア団体が数回炊き出しをしたとのことです。寝具、食事等を避難所毎に備蓄するよう求めています。
98	1	中島下公民館	防災に対する関心が高まっている。災害の様々なシュミレーションをできる技術はあるはずだ。被害があつてから金を使うのではなく、防災に金を使うべき。	ご指摘の通りだと思います。現在の技術力では詳細にシュミレーション出来るものと思われれます。現行のハザードマップ水害編には、1000年に一度の確率で発生する大雨を想定しています。また支川の氾濫や内水による氾濫などを考慮していないこともあり、今後様々な雨量でのシュミレーションが必要であろうと思います。
99	1	中島下公民館	防災意識高揚の為、街中に浸水高の表示を求めたい。	既に浸水高の表示は市内各所に設置されております。
100	1	中島下公民館	中島保育所の指定避難場所の掲示が風等で飛ばされ、一か月ほど掲示されていない状況があった。暫定的なものでも良いので何故すぐ設置しようとししないのか。	確認を致します。
101	1	中島下公民館	ふるさと納税が好調のようだが、返礼品はどのようなものなのか。	4kテレビ、農産物等、地元の物を使用しています。また、納税額の増加理由については角田出身の方が地元の為に納税して頂いています。返礼品を辞退する方もいらっしゃるということです。
102	1	中島下公民館	高畑市営墓地へアクセスする高畑北3号線が、バイオマス発電所の敷地内を通る格好だ。今後発電所の関係車両の通行が見込まれる。舗装を要望したい。	ご要望として承ります。
103	1	中島下公民館	高畑南の班長をしているが、回覧物と配布物が非常に多い。配布物の中には回覧で済むものもある。減らすことはできないか。	一般企業でもペーパーレスが進んでいることから、削減出来るものがないか確認していきたいと思います。

No.	班	会場	意見・質問・要望等	当日の回答
104	1	中島下公民館	リサイクル出来る資源について、回収した資源の返金の用途について現状はどうなっているのか。公開した方が、市民のリサイクル意識も高まるのではないかと。	仙南二市七町で構成する仙南地域広域行政事務組合の中で各自治体への返金額が決まっています。確認致します。
105	1	中島下公民館	議会報告会をこうして行っているが、議員が答えられない内容もある。市役所職員も同席して行えば、疑問もそこで回答出来ることになるのではないかと。	予算執行権のない議会が断定的に発言することは困難です。職員同席も、職員への指揮命令権がないので困難です。現在当局はまちづくり懇談会を行っていない為、開催を求めて行くことが議会としての約割であると考えます。